


東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究 責任者	所属: 工学部 建築学科	学籍番号: 0914060	氏名: 佐藤 光将	
申請活動名	東京デザイナーズウィーク 2012 学校作品展 出展			

指導(支援)教員名	所属・職位	役割分担
市原 出	工学部建築学科	建築学科及び他学科コース学生の指導
内田 孝幸	工学部メディア画像学科	メディア画像学科及び他学科コース学生の指導
内山 雄介	芸術学部デザイン学科DCコース	DCコース及び他学科コース学生の指導
杉下 哲	芸術学部デザイン学科HPコース	HPコース及び他学科コース学生の指導
竹下 清美	芸術学部デザイン学科HPコース	HPコース及び他学科コース学生の指導
野口 靖	芸術学部インタラクティブメディア学科	IM学科及び他学科コース学生の指導
八尾 廣	工学部建築学科	建築学科及び他学科コース学生の指導
参加した学生の氏名・所属・役割分担		
所属: 建築学科	氏名: 榎本堂志	役割: <del>学校代表</del> 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 大津久典	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 懸田優太	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 蔭山結哉	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 黒田晃平	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 佐藤晋之介	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 佐藤光将	役割: <del>作品制作</del> 学校代表
所属: 建築学科	氏名: 平林義貴	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 牧島瞬	役割: 作品制作
所属: 建築学科	氏名: 真伏亮太	役割: 作品制作
所属: デザイン学科DCコース	氏名: 猪野翔子	役割: DC代表
所属: デザイン学科DCコース	氏名: 森智葉	役割: 作品制作
所属: デザイン学科DCコース	氏名: 高山彩音	役割: 作品制作
所属: デザイン学科DCコース	氏名: 鈴木夏紀	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 江田奈美	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 倉知優歌	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 青山早紀	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 白石大智	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 杉田大樹	役割: HP代表
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 肥田奈那子	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 高峰優	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 市之瀬滋郎	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 鈴木達也	役割: 学校代表
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 能城仁美	役割: 作品制作
所属: デザイン学科HPコース	氏名: 山田健太郎	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 飯塚絢子	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 大澤佑太郎	役割: IM代表
所属: IM学科	氏名: 斉藤涼太	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 堤竹智志	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 長谷川由佳	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 三上航平	役割: 作品制作
所属: IM学科	氏名: 山田幸輝	役割: 作品制作
所属: メディア画像学科	氏名: 福田冨樹	役割: メディア画像代表
合 計		31名

活動の内容(できるだけ詳しく)

コンセプト:「HOUSE」に夢を・・・。

わたしたちの周りにはさまざまな種類の「HOUSE」が存在する。  
生物が住まう場所、何かを守っている場所・・・。

東京デザイナーウィーク2012で与えられたHOUSEというテーマに、東京工芸大の学生同士で話し合い、HOUSEに「夢」という要素を加えた独自のテーマで作品制作を始めた。今年初めて挑戦するコンテナ展示に工と芸が融合した新しい「HOUSE」の空間を表現した。

今年はコンテナ展示を初めて試みた。20Ftサイズのコンテナをレンタルし、コンテナ内に8作品を展示した。建築学科はコンテナの空間デザインを担当し、残り7作品はそれぞれの専門分野を生かしたプロダクト作品を制作し、コンテナ内を“小さな東京工芸大学”を表現した。作品制作ではそれぞれの専門性向上と相互の知識、そして技術交流を目的とした。また、各作品の進行発表する機会を定期的に計画し、学生同士の交流、他分野の教員からの指摘・指導を受けて各作品の完成度を高め合った。展示では相互の理解を深め、当日の搬入・搬出スケジュール計画、また多くの来場者との交流を目的とした。

展示当日は学生同士が団結し協力し合って搬入・搬出作業をしたのでとてもスムーズに展示準備が出来た。またワークショップではワークショップ活動を得意とする「TamTam」というサークルが担当した。おかげで多くの来場者と交流する姿が見え、目標を達成する事が出来た。

活動のスケジュール

6月～7月: 代表ミーティング

7月～9月: 作品制作

9月～10月: 作品制作、展示制作

10月中旬: プレ発表

10月28日: 搬出入、作品展示

10月30日～11月5日: 開催期間 (総来場者 101,790人/7日間)

11月5日: 搬出入

活動により得られた成果

今年から厚木キャンパスと中野キャンパスに分かれている中、学生の交流を図るためにテレビ電話でミーティングを試みた事や、お互いのキャンパスに足を運び作品の進行状況の確認など、キャンパスが分かれている状況で同じ目的の作品制作、展示作業をする新しい試みを成功させた。学校生活で唯一、工学部と芸術学部が協力し合い、それぞれの専門分野と相互の知識を共用できる貴重な交流を通じて、新しい関係を築くことが出来た。

学校で1つのコンテナを借り、コンテナ空間に作品展示をする新しい試みを行った結果、本学の特質である工と芸の融合を発揮し、東京工芸大学という名前を来場者に認知させる事が出来た。

今後の活動予定

まず、後輩たちに今回の活動で学んだ経験を伝えていく。新たな繋がりが生まれ、学生同士のものづくりへの伝統がこれから先に継承されていくものだと思う。また参加した学生は分野を越えた交流の中でもものづくりを行い、社会に向け発信したこの貴重な経験を今後社会において、あるいは研究、創作活動に多いに役立てていって欲しい。

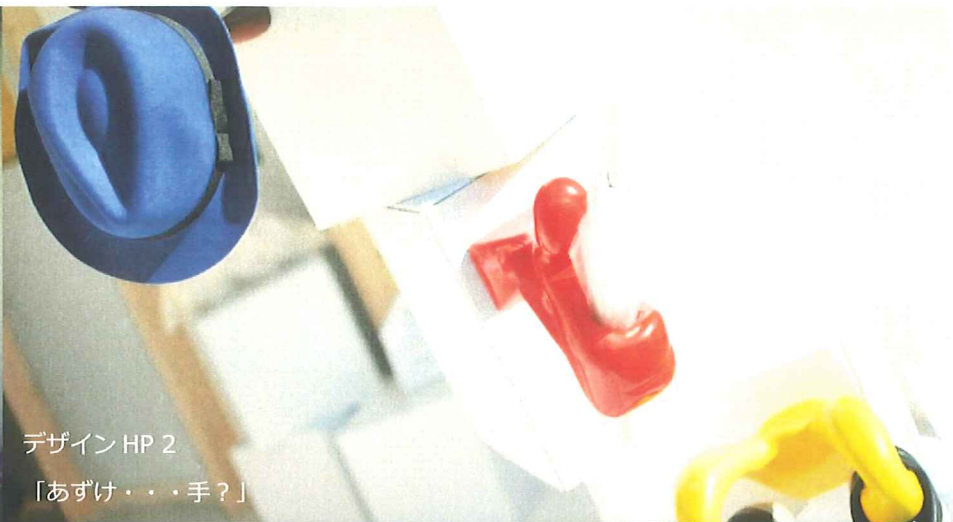
活動経費 ※金額を記入

1. 物品費	400,000	(円)	主な内訳 ・ 特になし ・ 共通展示材料、機械工具等パーツなど ・ 特になし ・ 特になし 主な内訳 ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし ・ 特になし
機器備品支出	0	(円)	
用品費・消耗品費	400,000	(円)	
図書・図書資料費	0	(円)	
その他物品費	0	(円)	
2. 活動費	0	(円)	
旅費	0	(円)	
通信運搬費	0	(円)	
印刷製本費	0	(円)	
業務委託費	0	(円)	
諸会費	0	(円)	
その他活動費	0	(円)	
経費合計	400,000	(円)	



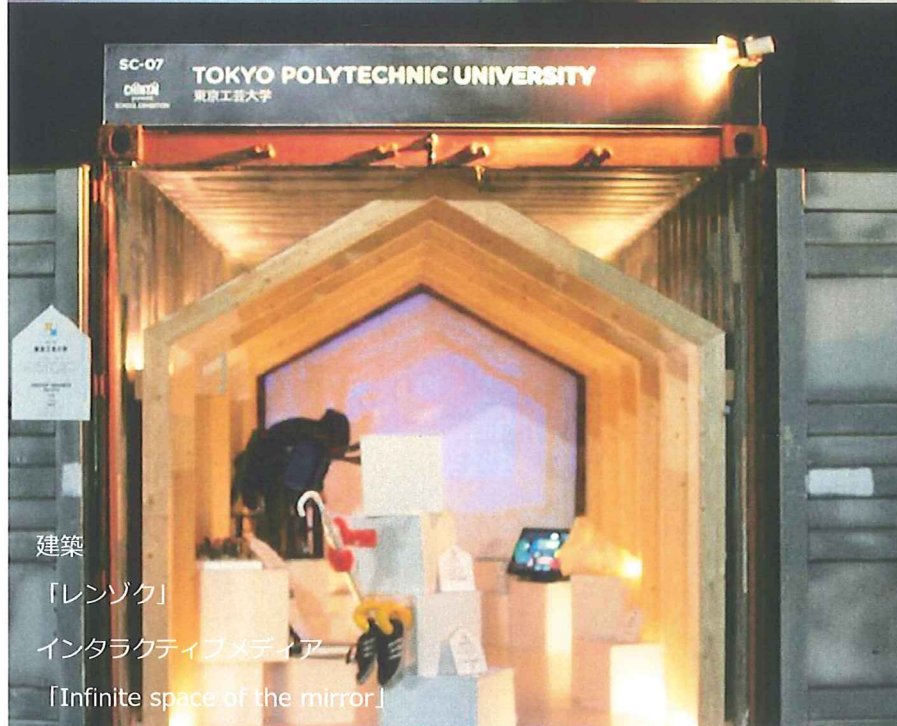
メディア画像

「House[動]; 守る、大切にする」



デザイン HP 2

「あずけ・・・手？」



建築

「レンゾク」

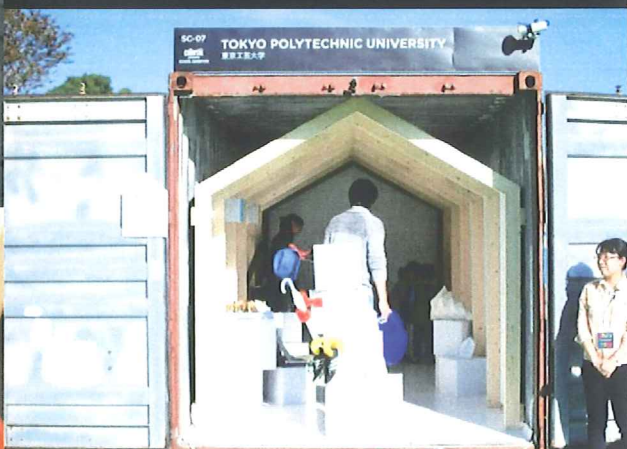
インタラクティブメディア

「Infinite space of the mirror」



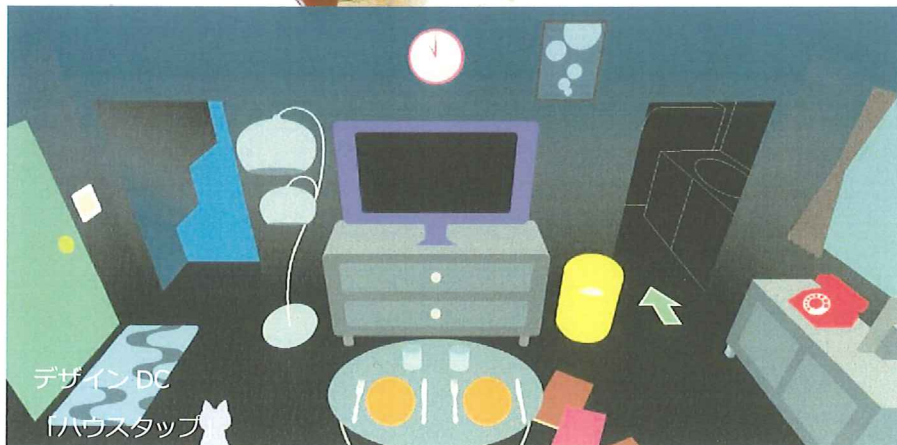
デザイン HP 2

「Sanest」



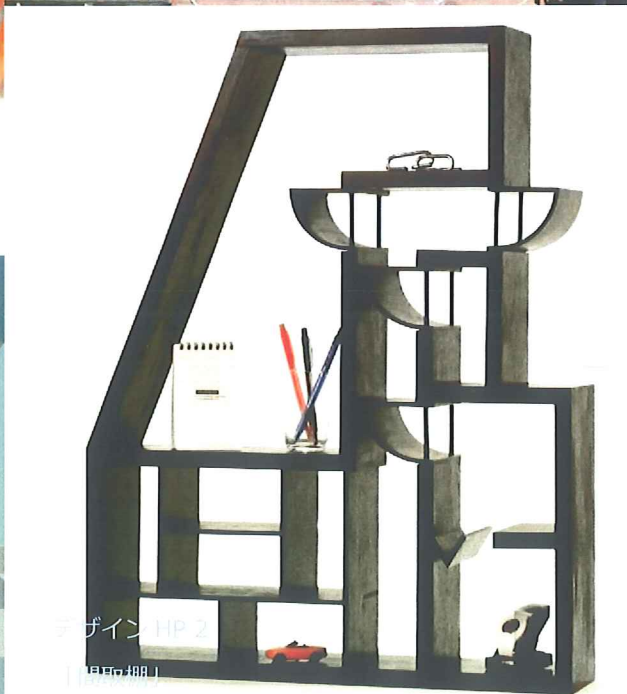
デザイン HP3

「はんこハウス」



デザイン DC

「ハウスタップ」



デザイン HP 2

「黒野棚」